

それぞれの声部には、この「音域」を守ってもらうと同時に、お互いの「離れ具合ルール」にも気を配ってもらう必要があります。

では、その「離れ具合ルール」を書いてみましょう。

ソプラノーアルト……1オクターブまでしか離れてはいけない
 アルトーテノール……1オクターブまでしか離れてはいけない
 テノールーバス……1オクターブ+5度(12度)まで離れてもよい

■仲のよすぎるふたりに注意

よく響きすぎる音程が続いて鳴るのは困るのです！

「合唱」は、4つの声を4色の色糸に見立てて、素敵な絵を描くようなものなのです。互いの動きに気を配り合い、しかも一つひとつの声が独立して美しいメロディをうたわなくてはなりません。そこで、ルールが必要になるのです。